

## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：下保 修

事業名	地域高規格 一般国道45号 普代バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局	
起終点	自：岩手県下閉伊郡普代村第11地割 至：岩手県下閉伊郡普代村第16地割	延長	4.15km			
事業概要	普代バイパス（自動車専用道路）は、三陸北縦貫道路の一部を構成する延長4.15kmの一般国道45号のバイパスであり、宮古地方生活圏と久慈二次生活圏の地域間交流に大きく寄与するものである。					
S63年度事業化	— 年度都市計画決定	H6年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	130億円	事業進捗率	85%	供用済延長	0km	
計画交通量	6,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3	総費用 (事業全体) 159億円 (事業費：150億円 維持管理費：8.4億円)	総便益 (事業全体) 210億円 (走行時間短縮便益：151億円 走行経費減少便益：42億円 交通事故減少便益：17億円)	基準年	平成19年	
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 【事業全体】 交通量変動：B/C=1.5(交通量+10%) B/C=1.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.2(事業費+10%) B/C=1.4(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.1(事業期間+20%) B/C=1.6(事業期間-20%)					
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路としての位置付け） ・災害への備え（現道が通行止めになった場合の代替路線を形成する） <span style="float: right;">他10項目に該当</span>					
関係する地方公共団体等の意見	普代バイパスは地域高規格道路ネットワークを形成するとともに、現道の交通隘路区間の解消等に重要な役割を果たすことが期待されており、宮古市長をはじめとする首長で構成される岩手県三陸縦貫自動車道整備促進期成同盟会等から早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	【執行済み額】事業費：110億（進捗率85%） うち用地費：24億（進捗率96%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部用地買収の難航箇所があるため、土地収用法に基づく事業認定申請の調整を行うとともに、任意での用地買収の推進を図る。平成20年代前半の完成2車線供用を目標に事業推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	・新技術の活用として、10径間連続鋼・コンクリート複合ラーメン橋を採用し、コスト縮減を図る。 ・初期コスト及びライフサイクルコストともに経済的な「耐候性鋼材」を採用し、維持管理コストの縮減を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。